

## 佐賀県景気動向指数

令和7年7月31日  
政策部統計分析課

### 1 令和7年5月の動向

- ◆ 先行指数 **68.8%** …… 2か月連続で50%を上回った。
- ◆ 一致指数 **57.1%** …… 4か月振りに50%を上回った。
- ◆ 遅行指数 **50.0%** …… 7か月振りに50%を下回った後、50%になった。

#### 〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(O)	
<b>《先行系列》</b>  採用系列数 8 拡張系列数 5.5 <b>指数 68.8</b>	所定外労働時間数 2か月連続 鉱工業生産指数(生産財) 4か月振り 乗用車新車登録台数 2か月連続 鉱工業在庫率(生産財・逆) 2か月連続 銀行貸出残高(☆) 3か月連続	新規求人数 2か月振り 新設住宅着工戸数 2か月連続	企業倒産件数(逆) -			
<b>《一致系列》</b>  採用系列数 7 拡張系列数 4.0 <b>指数 57.1</b>	就職率 3か月振り 鉱工業生産指数(総合) 4か月振り 鉱工業出荷指数(総合) 2か月連続 着工建築物床面積(産業用) 2か月連続	有効求人倍率(就業地別) 4か月連続 大型店売上高(☆) 2か月振り 輸入総額(唐津港+伊万里港) 2か月連続				
<b>《遅行系列》</b>  採用系列数 6 拡張系列数 3.0 <b>指数 50.0</b>	雇用保険受給実人員(逆) 4か月振り 陶磁器生産重量(☆) 2か月振り 消費者物価指数(☆) 6か月連続	常用雇用指数 2か月連続 鉱工業在庫指数(総合) 2か月連続 銀行預貸率 13か月振り				

(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、  
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

- ・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。
- ・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています(就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため)。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、  
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
- ・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。  
 なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。
- ・令和6年2月分公表から、「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、  
 全系列(先行・一致・遅行)において、変化方向が一部変わっています。
- ・参考値として掲載しているCI一致指数について、令和7年1月分公表から計算基準を更新したため、全期間で遡及して  
 数値を変えています。
- ・令和7年4月分公表から、「陶磁器生産重量」の季節調整をセンサス局法X-12-ARIMAから対前年同月比に変更し、  
 全期間で遡及して数値を変えているため、変化方向が一部変わっています。